

国内拠点 & 国内部 ニュース

2018年2月号

PICK UP! JICA四国



四国におけるSDGsの推進を誓ってJICA四国のメンバーと撮影。前列中央にて「目標15 陸の豊かさを守ろう」を掲げているのが高橋支部長。

四国で国別研修に参加したスリランカの研修員が、四国が自分の国と同様の課題を抱えていることに驚いたと言っていました。どちらも南部は洪水や土砂災害のリスクが高く、北部は渇水のリスクが高いそうです。香川県は渇水対策のため様々な取組みを実施している自治体で、古くは弘法大師が改修したと伝えられる日本一大きなため池である満濃池が今でも使われていますし、戦後は吉野川総合開発計画の策定や香川用水の建設など開発途上国の水資源問題解決に資する技術やモデルが豊富にあります。JICA四国は四国地域のプロデューサーとして、四国にあるこのような優れた技術を開発途上国の課題解決につなぎ、今後も双方が発展する協力を展開していきます。

JICA四国支部長 高橋政俊

渇水県香川の飲料水管理技術をアフリカに活かす！ 「アフリカ地域 村落飲料水管理」研修



本研修では、村落給水を担当するアフリカ11カ国15名の行政官及び技術者が、瀬戸内海式気候の影響で降雨量が少なく、長年にわたり渇水に悩まされてきた香川県を中心に、渇水対策や効率的な水利用方法など、限りある水資源を適切に管理し地域住民に安定的に飲料水を供給するための取り組みについて学びました。香川県、高松市といった地方自治体や香川大学による講義をはじめ、浄水場や簡易水道の視察、住民主体の水管理組合との意見交換などを通じて、香川の知見・日本の経験から、研修員それぞれが自国の給水施設の維持管理に関する課題を整理するとともに、村落地域における飲料水供給の改善に向けた具体的な行動計画を作成しました。

この記事の詳細は→<https://www.jica.go.jp/shikoku/topics/2017/0131.html>

★四国のことをもっと知りたい方は <https://www.jica.go.jp/shikoku/>

◆ 帯広 20年越しのインドネシア訪問



短期派遣専門家としてインドネシアにて活躍された根本國夫さんから、20年ぶりに当時のプロジェクトサイトを訪問された際の報告がありました。「当時の写真を見ながら談笑し、見学した種子検査所、大豆選別機など供与された機材は当時のままでした。丁寧に保守整備がなされており、いまだに時々使用しているとのことで、思わず胸に熱いものが込みあげてきました。当時指導した技術が、いまだに脈々と受け継がれ、彼ら自身で事業を推進している姿を、実際自分の目で確かめることができ、本当に良かったです」

この記事の詳細は

<https://www.jica.go.jp/obihiro/topics/2017/20171228.html>

★帯広のことをもっと知りたい方は→<https://www.jica.go.jp/obihiro/>

◆ 東北 【草の根技術協力事業】マレーシア国コタキナバル市、家庭ごみ分別にむけた協力（秋田県）



2015年12月から（一社）あきた地球環境会議・秋田市、コタキナバル市（以下KK市）の協力により実施されている「家庭から出されるごみを分別し、有価物を回収することで、ごみを減らす」ことを目的として、「コタキナバル市における廃棄物管理の改善」事業。本プロジェクトを通じて、KK市の3地区にてビニール、古紙、鉄、アルミに特化した分別回収の試行（パイロットプロジェクト）が行われています。2017年9月に、現地活動として住民との意見交換やパイロット地区の住民、KK市職員が一緒になってワークショップが行われました。

この記事の詳細は

<https://www.jica.go.jp/tohoku/topics/2017/ku57pq00000i6gww.html>

★東北のことをもっと知りたい方は→<https://www.jica.go.jp/tohoku/>

◆ 筑波 JICAボランティア活動報告：茨城県守谷市立高野小学校教諭 大里修史JV



茨城県出身で、エチオピアの「マスカラム小学校」にて2016年6月から、理科教育のボランティアとして活動する大里修史さん。配属先の「マスカラム小学校」では、主に7年生と8年生の「物理、化学、生物」の授業に参加。観察・実験の準備や運営も行います。日本で担任した児童たちに、エチオピアの子供たちとテレビ電話を活用して交流することを約束し、『Ethiopia-Japan Interaction Project☆（エチオピア - 日本交流会）』も実現。約1万kmも離れているエチオピアと日本の距離が一気に近づき、心の底から喜びを感じたそうです。

この記事の詳細は

<https://www.jica.go.jp/tsukuba/story/ku57pq00000i2ne8.html>

★筑波のことをもっと知りたい方は→<https://www.jica.go.jp/tsukuba/>

◆ 東京 日本流農業経営を学びにケニアより大学教授らが株式会社和郷を訪問



ケニアでは人口の7割以上が農業関連に従事していますが、知識・資金不足で質の高い作物が作れないなどの問題があります。株式会社和郷（千葉県香取市）は日本で培った栽培技術、小規模農家のグループ経営ノウハウを活かそうと「園芸農家の持続的営農に向けた 高付加価値果菜類の施設園芸ノウハウ普及・実証事業」を提案。この一環で、ケニア国ジョモ・ケニヤッタ農工大学教授ら3名が来日。最先端の栽培技術を目の当たりにし、「ハウスはどうなっているのか」「どれくらい収穫できるのか」など熱心に質問していました。

この記事の詳細は

<https://www.jica.go.jp/tokyo/topics/2017/ku57pq00000i6e1v.html>

★東京のことをもっと知りたい方は→<https://www.jica.go.jp/tokyo/>

◆ 中部 日本茶の品質管理技術を世界へ



製茶機械メーカー、カワサキ機工株式会社の代表取締役社長、川崎洋助さんは同社の持つ知識や技術を最大限活用できる紅茶生産国への進出を検討し、日本と同じように品質を重視する傾向が強く、品質管理や付加価値の向上に強いニーズが見込めるスリランカを対象に、JICAの中小企業海外展開支援事業に応募し採択されました。現地のルールに従いながら互いの主張を擦り合わせるのは困難で、文化や歴史の違いを痛感しつつも、自国の紅茶産業への自信と誇りは共通するのだと、本事業を通じて両国の茶産業活性化に貢献したいと語ります。

この記事の詳細は

https://www.jica.go.jp/chubu/story/story_123_171222.html

★中部のことをもっと知りたい方は→<https://www.jica.go.jp/chubu/>

◆関西 阪神・淡路大震災の被災地から日本の「こころのケア」を世界へ



6,400人余りの死者・行方不明者を出した1995年1月17日の阪神・淡路大震災の発生から23年。震災の経験と教訓を世界に伝えるため、2007年4月にJICAと兵庫県が共同で設立した「国際防災研修センター（DRLC）」の活動も10年を超えました。DRLCの成果の一つが日本の災害時の「こころのケア」の発信です。2017年8月、日本同様、地震や津波が頻発する南米チリで、災害時のこころのケアに関する初めてのガイドラインができました。チリ国別研修「災害時におけるこころのケアモデルの構築」の参加者らが中心となり、まとめました。

この記事の詳細は

https://www.jica.go.jp/topics/2017/20180117_01.html

★関西のことをもっと知りたい方は→<https://www.jica.go.jp/kansai/>

◆九州 途上国の肥満問題解決の助けに！－日本の専門家チームがミクロネシアからの研修員に指導－



「途上国」の中には、実は栄養過多や栄養のバランスに欠いた食事が問題になっている国も多く、ミクロネシアもその一つで、「肥満の増加」という大きな保健問題が社会を直撃しています。12月17日～25日の期間で日本に研修員としてミクロネシアポンペイ州の保健局・教育局の担当行政官、小学校教員を招き、小学校訪問や大学での講義を通じて、日本における体育教育の現状や、生活習慣病予防対策、食育、地産地消の考え方の学習のほか、実際に日本で実施しているエクササイズに挑戦し、効果を体感してもらいました。

この記事の詳細は

<https://www.jica.go.jp/kyushu/topics/2017/ku57pq00000i8p5l.html>

★九州のことをもっと知りたい方は→<https://www.jica.go.jp/kyushu/index.html>

◆地球ひろば エッセイコンテスト 最終審査結果発表



「国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト」は、中学生・高校生を対象に、開発途上国の現状や開発途上国と日本との関係について理解を深め、国際社会の中で日本、自分たち一人ひとりがどのように行動すべきかを考えることを目的として実施しています。今年で中学生の部は22回、高校生の部は56回を数え、総数70,144点ものご応募をいただきました。厳正な審査の結果、今年度の受賞者及び受賞校が決定しました。最優秀賞、優秀賞、審査員特別賞、国際協力特別賞を受賞した作品についてはホームページにて掲載予定です。

この記事の詳細は

<https://www.jica.go.jp/hiroba/program/apply/essay/index.html>

★地球ひろばのことをもっと知りたい方は→<https://www.jica.go.jp/hiroba/>

EVENT REPORT

◆二本松 「新春祝賀会」で4次隊と二本松の方々が交流



1月27日、JICA二本松にて派遣前訓練中のJICAボランティア2017年度4次隊約80名と二本松市の方々が交流する「新春祝賀会」を開催されました。会ではゲストからのスピーチでJICA二本松訓練所創設期、地元の人々でJICAボランティアを応援する応援団を立ち上げた当時の二本松市民側の、思い出話(上記)等が披露されたり、49年前の協力隊OBから当時のエピソードが紹介されたり、訓練中の4次隊訓練生にとって学びの多い機会となりました。

詳細は <https://www.jica.go.jp/nihonmatsu/topics/2017/ku57pq00000hpn3.html>

★二本松のことをもっと知りたい方は→<https://www.jica.go.jp/nihonmatsu/>

◆駒ヶ根 JICA信州国際塾『ヒマラヤ映画祭』大盛況！



1月21日に、長野市勤労者女性会館しなのきにて、JICA信州国際塾「ヒマラヤ映画祭」を行いました。約400名の方にお越し頂き、大盛況のうち、無事に閉幕しました。ブータン映画「思いを運ぶ手紙」とネパールを舞台にした映画「世界で一番美しい村」、2本の映画では素朴でありのままの姿をご覧いただけただかと思えます。幕間のパネルトークにも、興味を持ってくださった方が非常に多く、写真展も、大好評でした！

詳細は<https://www.facebook.com/jicakomagane/posts/1584057098337453>

★駒ヶ根のことをもっと知りたい方は→<https://www.jica.go.jp/komagane/>

◆北陸 JICA自治体間連携セミナー「福井発！国際協力・経済交流実践セミナー」



12月22日、「福井発！国際協力・経済交流実践セミナー」を開催しました。福井県内の自治体、各市町の国際交流協会、商工会、大学、民間企業等の間で、国際協力と経済交流の経験を共有するために開催され、約70名が参加しました。自治体からの発表事例として、今年度にJICA自治体連携セミナーのスキームで調査団を現地に派遣した福井県（ブータン）および大野市（東ティモール）から現地調査の報告が行われました。

詳細はhttps://www.jica.go.jp/hokuriku/topics/2017/20171226_01.html
北陸のことをもっと知りたい方は→<https://www.jica.go.jp/hokuriku/>

◆中国 2017年度 第3回ピーストーク -シリア編-



第3回HIROSHIMAピーストークは満員となった会場で広島大学の留学中のシリア人、ムハンマドさんが、シリア基礎情報を説明した後、「シリア危機」について、現アサド政権に対して民主化を求めるデモや政府による空爆の様子など、様々な写真を用いて説明してくれました。イスラム国台頭の背景や諸外国との関係についても述べられ、シリア危機を実際にその目で見て、体験したムハンマドさんの言葉が参加者の心に響いたようです。

詳細は https://www.jica.go.jp/chugoku/topics/2017/20171215_01.html
★中国のことをもっと知りたい方は→<https://www.jica.go.jp/chugoku/>

◆沖縄 沖縄の技術で世界を変える「海外展開支援セミナー」



12月12日、国内外の企業が出展する「第8回オキナワベンチャーマーケット万国津梁大異業種交流会」にて、展示ブースの出展と併せて海外展開支援セミナーを開催しました。第一部はパネルディスカッション、第二部では、JICA中小企業海外展開支援事業の採択企業であり国内外で活躍されている企業3社に、自社製品とJICA支援事業の活用事例をご紹介頂きました。セミナー後には各支援機関への個別質問など活発に交流が見られました。

詳細は<https://www.jica.go.jp/okinawa/topics/2017/ku57pq0000i0qkk.html>
沖縄のことをもっと知りたい方は→<https://www.jica.go.jp/okinawa/>

EVENT INFORMATION

◆札幌 シンポジウム「地方創生×SDGs ～地方創生にSDGsをどう活用するか？～」



2月22日（木）18時より札幌市民ホールにてシンポジウムを開催します。環境モデル都市、環境未来都市としてSDGs前から先進的な取り組みを進めてきたニセコ町、下川町の事例、また、企業として先駆的な取り組みを続けているアレフ社の事例を発表していただき、SDGsを原動力とした地方創生、地域活性化の可能性を探ります。また、JICAの途上国対象の事業が地方創生に貢献した事例も紹介いたします。参加申込みはJICA北海道（札幌）市民参加協力課まで。

詳細は<https://www.jica.go.jp/sapporo/event/2017/ku57pq0000id391.html>
★札幌のことをもっと知りたい方は→<https://www.jica.go.jp/sapporo/>

◆横浜 【海外移住資料館】企画展示 南国土佐を後にして一海を渡った「いごっそう」



2月10日から5月27日 までJICA横浜の海外移住資料館では高知県の協力で「南国土佐を後にして一海を渡った「いごっそう」」を展示します。「いごっそう」とは、気性が激しく頑固ながらも度量が大きく信念を貫く土佐人特有の気質とされています。本展示では、日系コミュニティにおける立役者として高知県移民が果たした役割と貢献、現存する資料から伺える移民の体験について紹介します。

詳細は<https://www.jica.go.jp/yokohama/event/2017/180210.html>
★横浜のことをもっと知りたい方は→<https://www.jica.go.jp/yokohama/>



お知らせ

研修事業

●2018 年度課題別研修の開始に向けて

研修企画課の所掌業務のひとつに課題別研修のコースラインアップの取りまとめがあります。研修コースの基本情報や、どのコースでどこの国・地域から研修員を募集するのかといった情報を管理しています。このほど 2018 年度に実施するコースデータがまとまり、研修員の募集、選考が各コースの実施時期に合わせて行われます。

課題別研修では、300 以上の多彩な案件を取りそろえ、世界約 140 の途上国・地域から日本各地において研修員を受け入れています。今年度ならびに過去に実施された研修案件概要は JICA ホームページでご覧になれます。2018 年度研修概要については、今後掲載予定です。

【課題別研修概要一覧

URL】 https://www.jica.go.jp/activities/schemes/tr_japan/summary/lineup.html

中小企業海外展開支援事業

●2017 年度第 2 回公示 中小企業海外展開支援事業 採択企業説明会開催！

1 月 16 日（水）「基礎調査」、1 月 17 日（木）「案件化調査」、1 月 18 日（金）「普及・実証事業」の採択企業説明会を JICA 本部にて開催しました。本部と各国内拠点において、3 日間を通じて総計 188 名が参加されました。2012 年度から始まりました本事業はもうすぐ 7 年目を迎えようとしています。今後も本事業がより一層実りあるものになるよう、企業の皆さまを支援させていただきます。採択案件の詳細については下記ページをご覧ください。

https://www.jica.go.jp/press/2017/20171226_01.html

発行責任者：国内事業部長
編集：国内事業部広報班（計画課）
tatpl@jica.go.jp